

平成28年度第2回地域ネットワーク部会議事要旨

- 日時 : 平成28年7月20日(水) 18:05~19:00
場所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
構成員 : 12名
出席者 : 7名 宮里 浩(那覇市立病院)、金城 達也(琉大病院)、新垣 千春(那覇市立病院)、
長岡 弘子(中部病院)、宮城 みづえ(琉大病院)、増田 昌人(琉大病院)、仲本 奈々
(琉大病院)
欠席者 : 5名 照屋 淳(北部医師会病院)、上田 真(中部病院)、川満 博昭(県立宮古病院)、
中上 弘茂(八重山病院)、真鶴 善栄(がん患者会連合会)
陪席者 : 1名 城間彩乃(琉大病院)

[報告事項]

1. 平成28年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

宮里部会長より、平成28年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. 平成28年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

宮里部会長より、資料2に基づき、平成28年度現在のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は19例で、施設別では、那覇市立13例、琉大6例、中部病院が0例の順になっていることが報告された。

3. 地域ネットワーク部会の部会長および副部会長について

宮里部会長より、資料3に基づき、平成28年度地域ネットワーク部会の部会長に宮里委員、副部会長に金城委員、長岡委員が決定したことが報告された。

4. 那覇市立病院における消化器医師と検診センターで行っている取り組みについて

宮里部会長より、都道府県別・がん種別の死亡率、改善率の結果を受けて、消化器医師と検診センターと院内で取り組みを始めたことが報告された。

[協議事項]

1. 今年度(平成28年度)事業計画について

宮里部会長と仲本委員より、今年度の事業計画について説明があり、9件ある施策のうち、実際動いている施策が3件との説明があった。その為、施策を進める為の具体的な提案がないか問題提起があった。

宮里部会長より、沖縄県内のがん診療連携拠点病院以外に(市中病院等)がん地域連携の現況報告を依頼してはどうか(例:中頭病院、浦添総合病院、豊見城中央病院等)との提案があった。

具体的には、上記のような病院が実施する地域連携に関する講演会等に、医師会やよりよい医療を応援する会等と共催をして(主催は、地域ネットワーク部会)、がん地域連携の実態の報告を行う場を設ける。そして、そこから得られた情報を拠点病院やかかりつけ施設で活用できるのではないかと説明があった。

上記の案を、共催団体と相談し、取り組みを始められる様検討することとなった。

2. 大腸がんワーキンググループについて

宮里部会長より、資料3に基づき、前回の会議にて「大腸がんワーキンググループ」の立ち上げの提案があがったことが説明された。構成員候補者は、琉大病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院の医師及び連携室看護師各1名、よりよい地域医療を応援する会の2名の合計8名である。

構成員候補者全員から内諾が得られた為、承認された。

尚、大腸がんワーキンググループの開催日程案としては、次回のネットワーク部会開催前に（8月もしくは9月）日程調整を行い開催することが決定された。

3. 連携パスを利用する患者に対して優先的に渡航費を支払うという施策について

増田委員より、別紙資料に基づき、離島の要望に応える形で「がん患者さんのための療養場所ガイド」を作成した旨の報告があった。また、離島の各地（西表、座間味、与那国等）に出向いて診療所の先生方に連携パスの情報提供を行い、パスの普及や渡航費の支払いの働きかけに努めていると報告があった。

4. 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価分析結果報告

増田委員より、別紙資料に基づき、沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価（今年3月に沖縄県へ提出済）の報告があった。詳細は資料を確認して頂くよう説明があった。

5. その他

特に記載事項無し。

6. 次回の開催について

次回の開催日は、第一候補は10月5日（水）で、第二候補は10月19日（水）となった。